奈良学園大学アセスメントプラン

1. アセスメントプランについて

アセスメントプランとは、学生の学修成果を測定し、教育プログラムの効果を評価するための体系的な計画です。

① 本学で定める三つのポリシーが適切であるか。

② 本学の教育カリキュラムが三つのポリシーに基づき適切に機能しているか。

について、三つのレベル（全学レベル・学位プログラムレベル・授業科目レベル）で総合的に評価するための実施方法を定めています。

2. アセスメントの方法について

次に示す多面的指標を用いて、点検・評価を行います。

入学受け入れの方針
アドミッション・ポリシー（AP）

教育課程編成・実施の方針
カリキュラム・ポリシー（CP）

卒業認定・学位授与の方針
ディプロマ・ポリシー（DP）

全学レベル

以下の各指標を総合的に分析し、学修成果の総括的評価を行う。

学位プログラムレベル

アドミッション・ポリシーの適切性

- 各種入学試験とその後の基礎学力テスト
- GPA
- 単位修得状況
- 退学状況
- アセスメントテスト（外部評価：GPS-Academic・PROG）

カリキュラム・ポリシーの適切性

- 学生の意識及び生活の実態に関する調査
- 卒業時アンケート
- 第三者評価
- シラバスチェック（DP と科目内容）
- GPCA の分布
- 授業評価（授業評価アンケート）
- DP 達成調査（学生の自己評価）
- アセスメントテスト（外部評価：GPS-Academic・PROG）

ディプロマ・ポリシーの適切性

- 卒業後アンケート
- 就職先アンケート
- 第三者評価
- 就職率（各学科別・職種別）

授業科目レベル

・シラバスチェック
・授業評価（授業評価アンケート）
・成績評価（GP）

三つのポリシーの整合性の点検